

- ④ 生徒指導の充実に努めた。
- ア 各種研修会を実施し、生徒指導の充実に努めた。
- ㊦ 生徒指導推進会議（3回）
 - ㊧ 生徒指導担当指導主事研究協議会（2回）
 - ㊨ カウンセリング研修会
 - ㊩ 生徒指導講座
- イ 研究学校（地区）を指定し、生徒指導の充実・改善に努めた。
- ㊰ 研究学校（中学校2校）
 - ㊱ 研究推進地区（1地区）
- ウ 管内教育相談事業を実施し、児童生徒・保護者・教員に対して指導・助言に努めた。
- エ 教師用生徒指導資料を作成配布し、指導力の向上に努めた。
- 生徒指導体制（1月）、○教育相談（2月）、
 - 家庭・地域・関係機関との連携（2月）
 - 登校拒否（3月）
- オ 保護者向けの家庭教育啓発パンフレット「豊かな心を育てるために」を作成配布し、家庭の教育力の向上に努めた。
- ⑤ 社会の変化に対応した教育の充実に努めた。
- ア 情報化社会に対応できる能力を育てるため、学校におけるコンピュータ等の整備に努めるよう市町村の指導に当たった。
- イ 国際化に対応するために、国際感覚を備えた人づくりを努めた。
- ㊲ 次代を担う青少年を育成する教員に、諸外国の教育、文化及び社会等の実情を視察させ、国際的視野に立った識見を高めるため、「海外教育事情調査派遣」を実施した。
 - ㊳ 国際交流推進研究学校を指定し、国際理解教育や国際交流の在り方等について、実践的研究を行いその成果の普及に努めた。
 - ㊴ 「語学指導等を行う外国青年招致事業」により、県が受け入れた外国青年48名のうち37名が市町村教育委員会等に配置され、これらの青年の活用によって外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図った。

2 現 職 教 育

(1) 教職員等中央研修講座

校長、教頭、中堅教員等に対し、学校の管理運営、学習指導などの諸問題について、それぞれの職務に必要な研修を行い、その識見を高め、指導力の向上を図ることを目的とする。

- ① 主 催 文部省
- ② 会 場 国立教育会館筑波会館
- ③ 期間及び参加者

◇ 校長・教頭等研修講座

第1回 6月20日～7月11日

喜多方市立第二小学校教頭 大坂 恭一
田村郡都路村立都路第二中学校長 阿部 幸治

東白川郡棚倉町立棚倉中学校教頭 川 辺 征四郎
県教育庁義務教育課指導主事 大 楽 睦 彦

第2回 7月18日～8月8日

県立喜多方商業高等学校長 仁 科 彦
県立遠野高等学校長 砂子田 敦博
県立福島北高等学校教頭 川 村 紀 夫
県立須賀川高等学校教頭 吉 田 陽 一

第3回 1月9日～1月30日

南会津郡下郷町立江川小学校校長 安 斎 牧 夫
石川郡浅川町立浅川小学校教頭 細 谷 道 雄
いわき市立永井中学校校長 酒 井 義 浩
双葉郡大熊町立大熊中学校教頭 高 倉 胤 尚

第4回 2月7日～2月28日

原町市立太田小学校校長 門 馬 洋 二
福島市立瀬上小学校教頭 伊 藤 雄 雄
いわき市立平第三小学校教頭 草 野 馨
福島市立大笹生幼稚園長 野 澤 光 男

◇ 中堅教員研修講座

第1回 5月9日～6月13日

伊達郡桑折町立睦合小学校教諭 斎 藤 洋 次
郡山市立穂積小学校教諭 佐 藤 健 二
福島市立大鳥中学校教諭 安 藤 重 男
安達郡本宮町立本宮第一中学校教諭 松 本 正 義
郡山市立守山中学校教諭 安 達 隆 俊
いわき市立中央台北中学校教諭 伊 藤 孝 俊

第2回 8月17日～9月21日

県立須賀川高等学校教諭 加 藤 敏 男
県立原町高等学校教諭 大 石 力 弥
県立安積高等学校教諭 柴 崎 茂
県立福島商業高等学校教諭 菱 沼 孝

第3回 9月28日～11月2日

福島市立福島第二小学校教諭 阿 部 隆
河沼郡河東町立河東第二小学校教諭 湯 田 一 秋
田村郡都路村立都路第一中学校教諭 大清水 久 雄
県立磐城女子高等学校教諭 山 名 隆 弘

第4回 11月14日～12月19日

岩瀬郡天栄村立牧本小学校教諭 高 原 孝 一 郎
西白河郡矢吹町立中畑小学校教諭 高 久 真 隆
東白川郡鮫川村立鮫川小学校教諭 伊 藤 涉
会津若松市立謹教小学校教諭 渡 部 久 雄
相馬市立中村第二小学校教諭 高 玉 幸 江
いわき市立川部小学校教諭 鷲 健 司

(2) 教員海外派遣

- ① 主 催 文部省
- ② 視察期間
 - ア 長期派遣 30日間
 - イ 短期派遣（県団、東北ブロック団） 16日間
 - ウ 若手派遣 60日間
- ③ 視察内容
 - 諸外国の教育、文化及び社会等の諸事情
- ④ 参加者及び主な視察国
 - ア 長期派遣（4名） 5月～11月